

4.6 トレーサー試験結果

トレーサー試験は、汚染物質移動速度の目安となる地下水の実流速を把握するために、A 井戸直近、B 地区、掘削地点付近、グラウンド北西端で行った。

4.6.1 試験法

トレーサー試験は、投入孔にトレーサー剤を投入し、観測点でトレーサーの到達時間を観測して、地下水の流向や経路およびその流速を把握する方法である。トレーサーの到達時間は、観測点でのトレーサー濃度のピーク値に至る時間をトレーサー流出曲線から判定する。

今回のトレーサー材は塩水を使用した。

4.6.2 試験結果

試験は、深度および時期を変えて実施した。結果は以下の図にまとめた。

図 4.6.1 トレーサー試験結果 (A 井戸直近)

図 4.6.2 トレーサー試験結果 (A 井戸西方、A 南東 90m、B 地区)

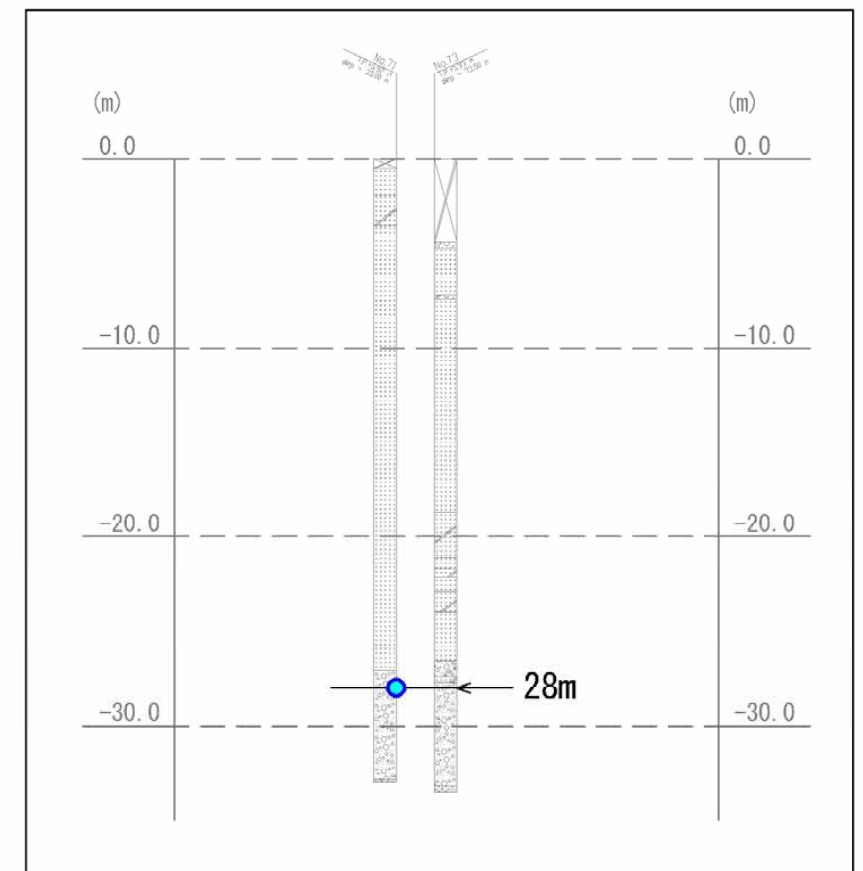
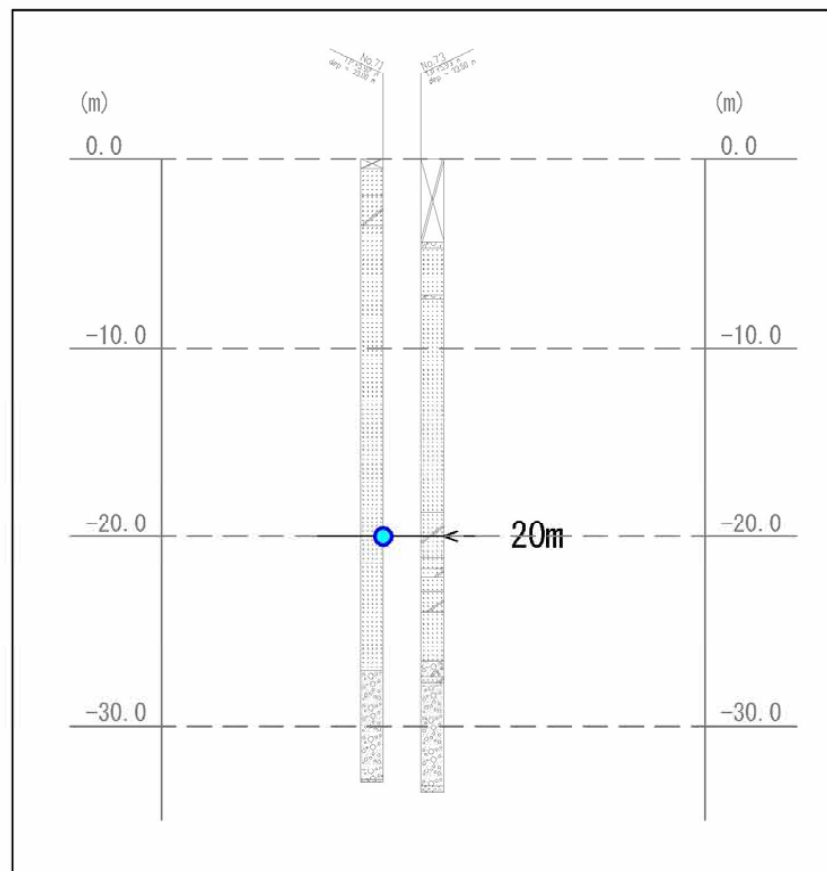
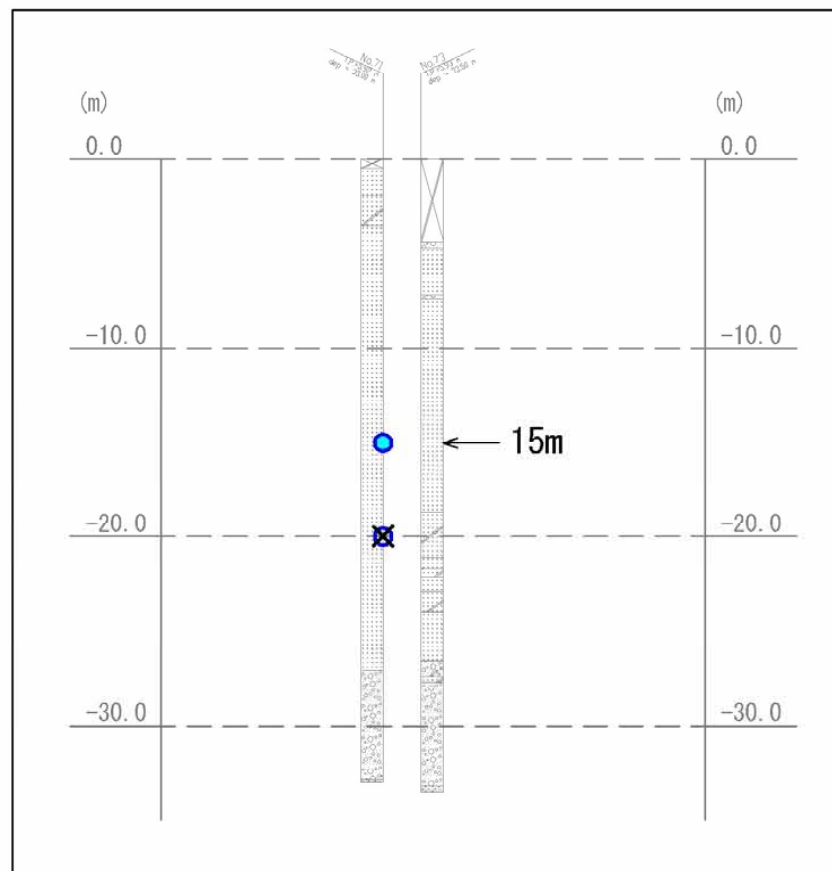
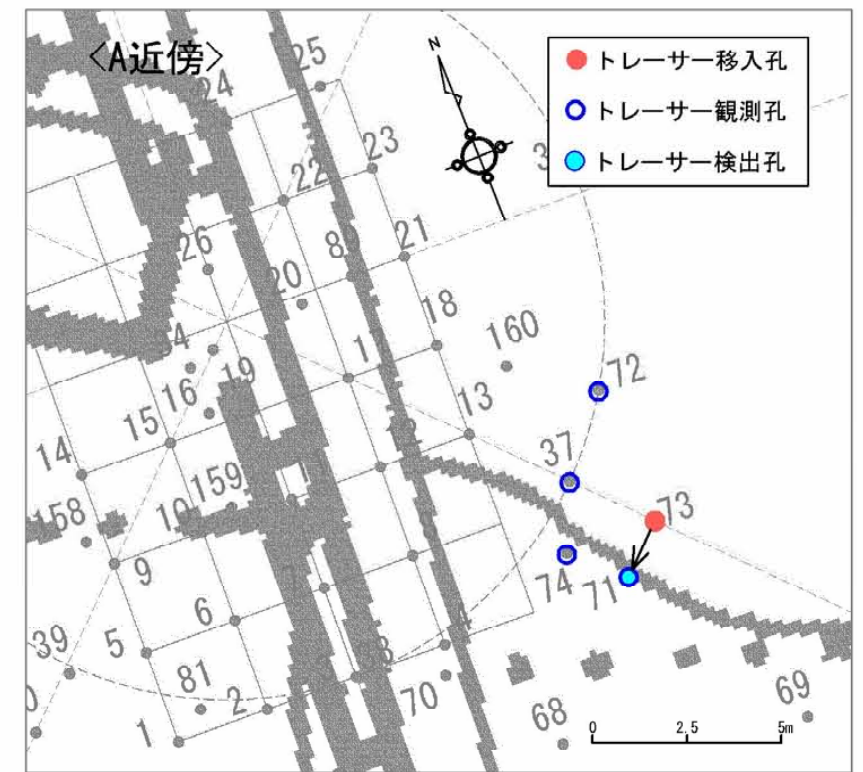
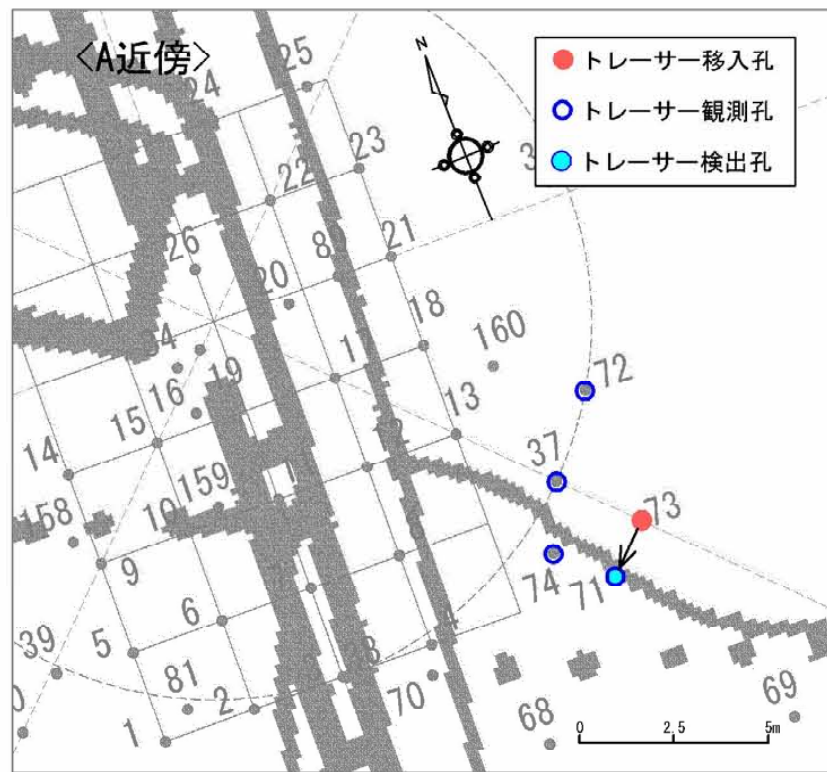
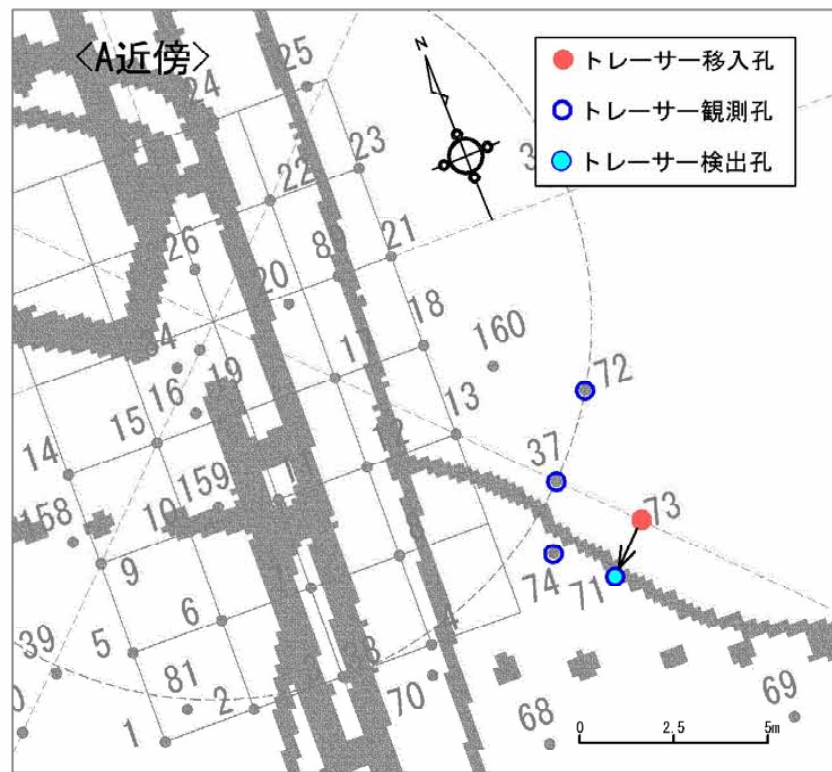
A 井戸直近の高濃度汚染が確認された 73 孔で行った試験では、いずれの深度および時期においても南西に向かう流向となった。流速は深部の方が速い結果となった。

A 南東 90m 付近の 122 孔をトレーサー孔として行った試験でも、南西方向に向かう流れとなった。流速は 2.6m/day と非常に速い。

A 井戸から西方約 50m のグラウンド北西端で行った試験では、観測孔が少ない影響もあるが、試験期間中にトレーサーは確認できなかった。

B 地区付近の 170 孔をトレーサー孔として行った試験でも、南西方向に向かう流れとなった。流速は 1.0m/day 程度であった。

図4.6.1 トレーサー試験結果 (A井戸直近)

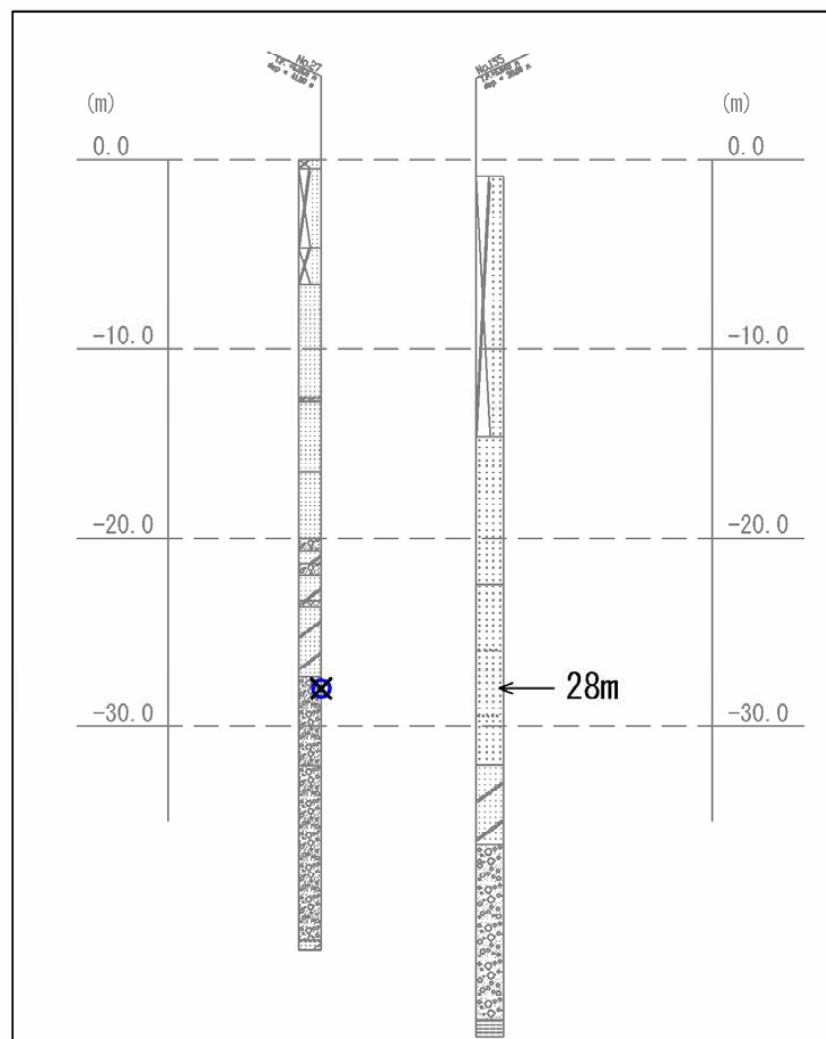
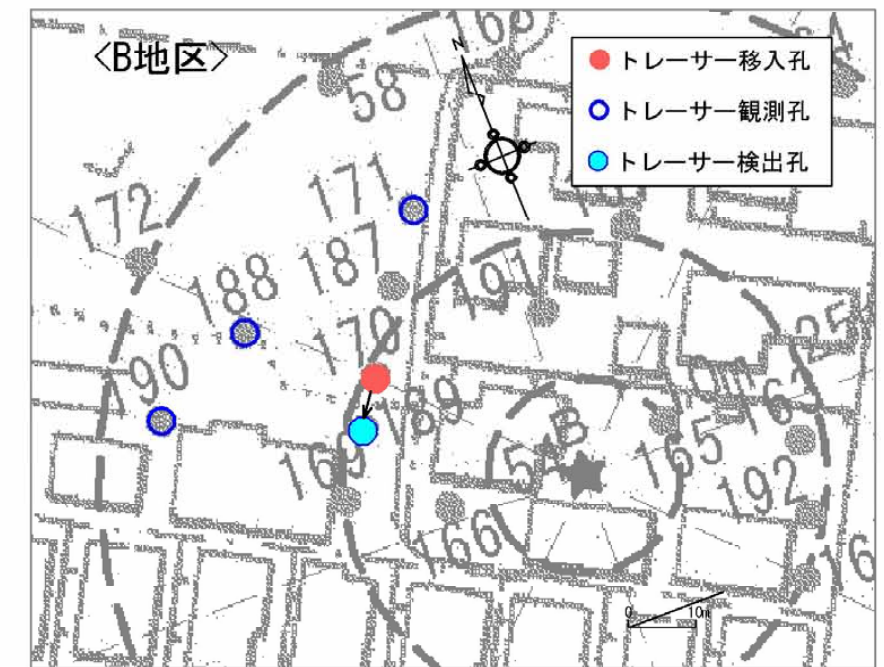
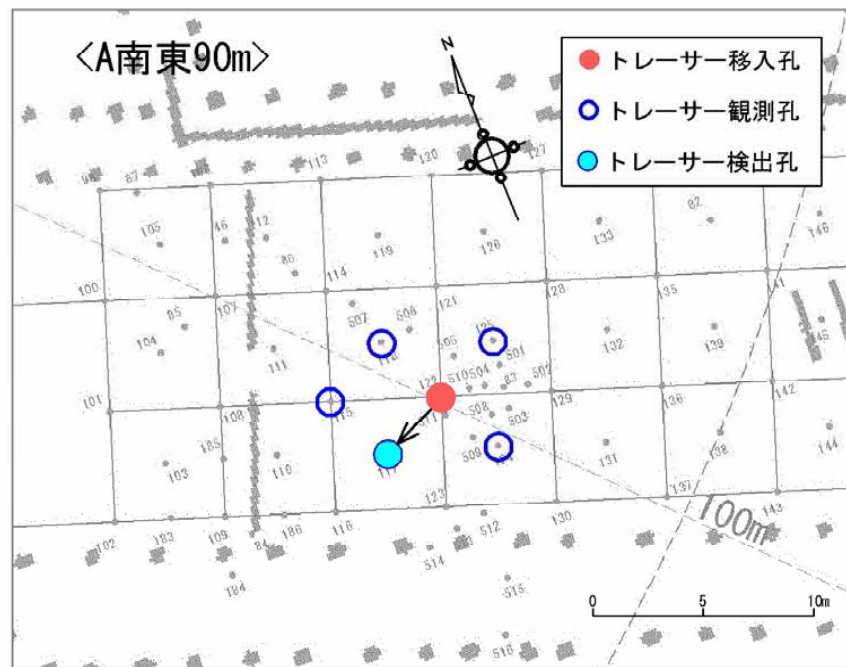
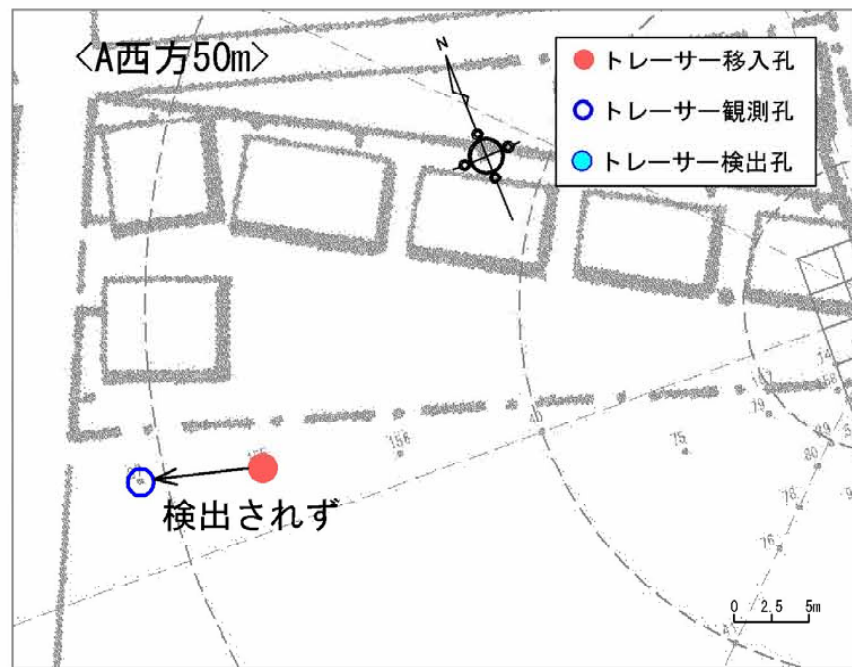


試験日	2004.4
検出日	
流速	0.5184 m/day
流向	南西

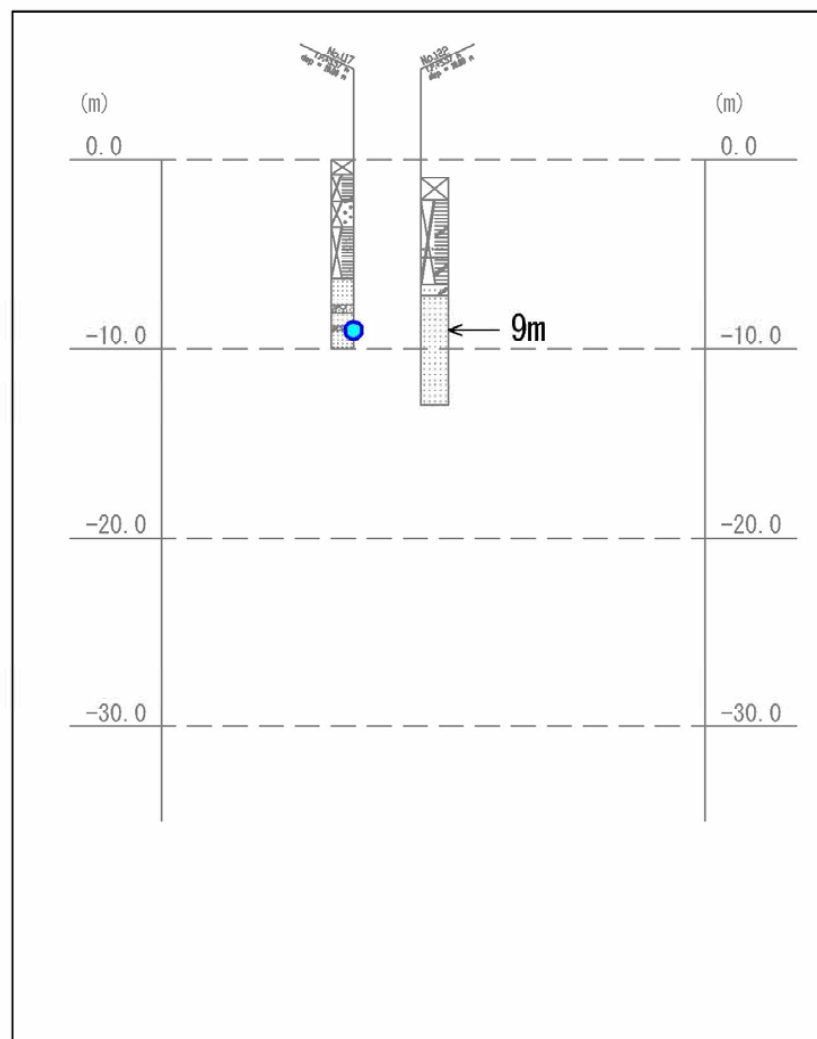
試験日	2004.12
検出日	
流速	1.094 m/day
流向	南西

試験日	2005.1
検出日	
流速	1.368 m/day
流向	南西

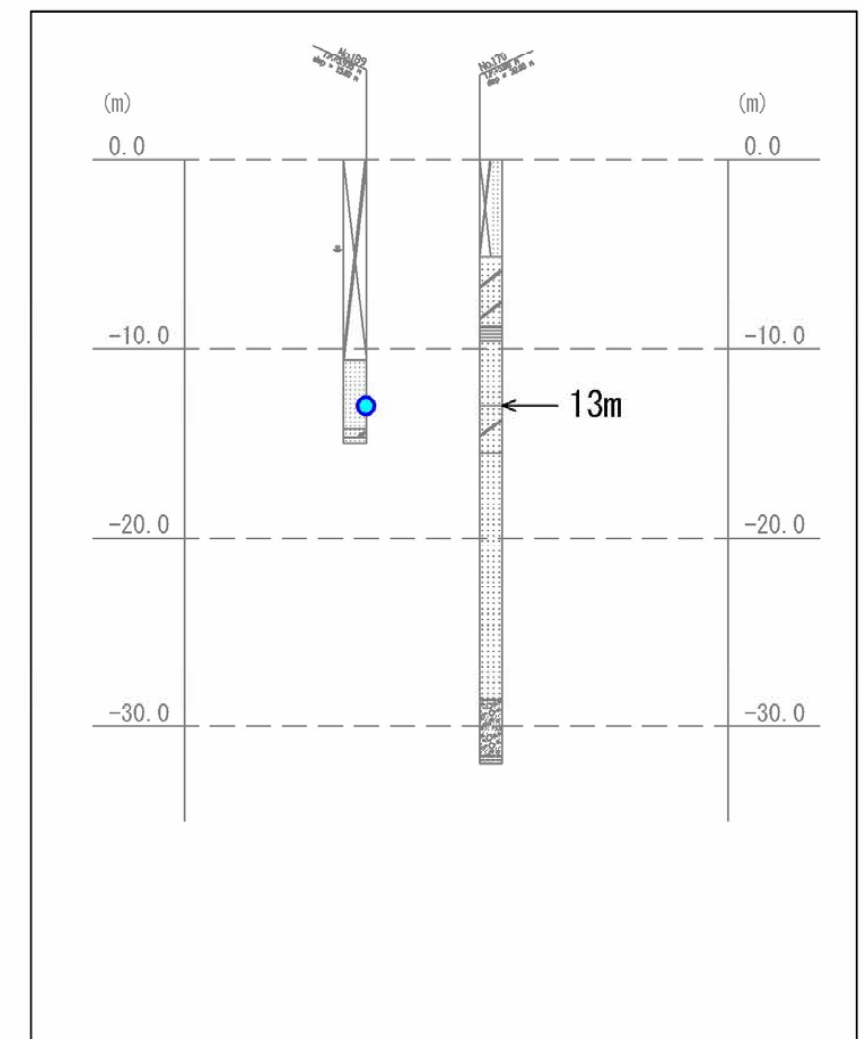
図4.6.2 トレーサー試験結果（A井戸西方、A南東90m、B地区付近）



試験日	2005.1
検出日	—
流速	—
流向	—



試験日	2004.6
検出日	—
流速	2.604 m/day
流向	南西



試験日	2004.11
検出日	—
流速	1.036 m/day
流向	南西